

2021年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科/ヴォーカリストコース											
作詞・作曲1											
対象	1年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	30	単位	2
担当教員	坂詰 美紗子			実務経験	有	職種	作詞作曲家				
授業概要											
<p>鼻歌でメロディーを作り、コードを付け、歌詞を付けて、1曲歌もの楽曲を完成させることを目的とする。楽器が出来る学生は楽器を用いながら、またそうでない学生はクリエイターの学生とペアを組むなどしてメロディーとコードを作成する。イントロ、A、B、サビという歌ものいわゆるひな形を理解し、この構成に則って制作を進めていく。必ず最後に発表をさせて、学生同士で意見交換などしていく。</p>											
到達目標											
<p>終了ライブに向けて或いは個人のアーティスト活動やオーディションで披露出来るような、オリジナル楽曲を作れるようになる。曲数に関しては個人差が出てくると思いますが、ひとり1曲を目標としたいです。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。</p>											
授業方法											
<p>この授業では音楽理論の授業や作詞の授業など他の授業科目で学んだことを生かしながら、楽曲の旋律がかかるようになることを目的とします。</p>											
成績評価方法											
<p>試験・課題 70% 課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価 成果発表 20% 授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価 平常点 10% 積極的な姿勢</p>											
履修上の注意											
<p>授業中の私語や受動態度などには厳しく対応する。授業に出席するだけでなく社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。</p>											
教科書教材											
<p>毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする</p>											
回数	授業計画										
第1回	授業の目的を理解してもらうことで共通の目的意識を持ち、授業に取り組む姿勢について確認する										
第2回	基本操作を学び、打ち込みをする為の準備をする										
第3回	適当なシンセを用いて指定された歌メロを打ち込む										
第4回	適当なシンセを用いて指定された歌メロとコードを打ち込む										
第5回	4リズムセクションの基本について学ぶ										
第6回	ドラムのビートや各打楽器の役割について学ぶ										

2021年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科/ヴォーカリストコース	
作詞・作曲1	
第7回	指定されたビートの打ち込みとフィルの作成
第8回	ベースの基本知識と役割について学ぶ
第9回	前回打ち込んだビートにベースをつける
第10回	ピアノの基本知識と役割について学ぶ
第11回	前回までのデータにピアノでコードやメロをつける
第12回	ギター、シンセについての基礎知識と役割について学ぶ
第13回	前回までのデータにギターorシンセでコードやメロをつける
第14回	8～16小節程度で4リズムセクションの曲を作成する
第15回	国内特殊事情としてのバブル時代からバブル後の音楽シーンへの流れの分析と把握。そして現在へと繋がる流れを確認する。